

第 3 3 1 回  
日 本 泌 尿 器 科 学 会 新 潟 地 方 会  
《 プ ロ グ ラ ム 》

日 時：平成 1 6 年 9 月 1 1 日 ( 土 ) 午後 3 時 3 0 分～  
会 場：イタリア軒 5 階 『春日の間』  
新潟市西堀通 7 025-224-5111

次回 第 3 3 2 回新潟地方会予告

期日：平成 1 6 年 1 2 月 4 日 ( 土 ) 午後 3 時より

会場：未定

演題申込期限：平成 1 6 年 1 1 月 5 日 ( 金 )

- ※ PC 発表でスライド 1 面 1 0 枚以内。
- ※ 口演時間は、1 題 7 分。討論 3 分

951-8510 新潟市旭町通 1 の 7 5 7

新潟大学医学部泌尿器科学教室内

日本泌尿器科学会新潟地方会

TEL : 025 ( 227 ) 2289 / FAX : 025 ( 227 ) 0784

会長 高 橋 公 太

1 . SLE に伴う両側尿管閉塞に対する回腸利用尿管置換術後に腸間膜血管により置換回腸の通過障害をきたした 1 例

新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野<sup>1)</sup>、

同 第一外科<sup>2)</sup>、県立中央病院泌尿器科<sup>3)</sup>

小林和博<sup>1)</sup>、小原健司<sup>1)</sup>、渡辺竜助<sup>1)</sup>、桑原明史<sup>2)</sup>、

片桐明善<sup>3)</sup>、若月秀光<sup>3)</sup>、若生康一<sup>3)</sup>、高橋公太<sup>1)</sup>

症例は 29 才女性。1994 年 10 月 24 日 SLE による両側尿管閉塞にて回腸を利用した両側尿管置換術を施行した。その後時々左水腎症に伴う左側腹部痛があり、左腎瘻を造設するも、通過障害は一時的で腎瘻を抜去する、というエピソードを何度か繰り返した。2004 年 3 月 5 日再度左側腹部痛あり、左腎瘻造設術施行。CT、腎瘻造影等にて左腎盂から右腎盂までの置換回腸に通過障害を認めた。2004 年 5 月 26 日開腹下に置換回腸を検索したところ、置換回腸の一部が下腸間膜動静脈の分枝によっていわゆる首吊り状態となっていたため、血管を離断し置換回腸の背側にまわして再吻合した。

2 . 遠位型尿道下裂に対する Snodgrass 法による尿道形成術

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野

小原健司、水澤隆樹、渡辺竜助、車田茂徳、内藤雅晃、小林和博、高橋公太

遠位型尿道下裂、6 症例に対し初回手術として Snodgrass 法による尿道形成術を施行した。1 例に術後早期に尿道狭窄が発生し切開を行い改善した。他の 1 例で尿道口が軽度後退した。尿道狭窄が発生した 1 症例を含め 5 症例の外尿道口は縦長のスリット状であり、美容的外観はほぼ満足のいくものであった。術後、5 ヶ月から 2 年 2 ヶ月が経過しているが排尿状態は全症例ともに良好である。

3 . 前立腺癌に対する watchful waiting - 当院の現況 -

県立がんセンター新潟病院 斎藤俊弘、笠原 隆、北村康男、小松原秀一

2003 年以降、当科では「臨床的に重要でない癌」である可能性が比較的高い場合、前立腺癌の

治療選択肢の一つとしてwatchful waitingも提示している。これまで23例に行ってきたが、うち3例は後にホルモン療法を開始、20例はwatchful waitingを継続中である。観察期間が短いためその真価は未だ測り難いが、現在までの成績について報告する。

#### 4 . 水腎症をきたした GIST の 1 例

厚生連刈羽郡総合病院 泌尿器科 羽入修吾

同外科 若桑隆二・植木 匡・石塚 大

厚生連病理センター 五十嵐俊彦

症例；62 歳男性。主訴；左腰痛、血尿。左下腹部に硬い腫瘤を触知。エコー；左水腎症中等度。CT；4cm の腫瘍が左尿管下部を前外側から圧迫。手術；腫瘍は小腸・結腸間膜・尿管と癒着。部分切除で腫瘍と一塊に摘出。病理；c-KIT 陽性で小腸発生の GIST ( gastrointestinal stromal tumor 消化管間質腫瘍 ) と診断。腫瘍は完全に切除されていた。水腎症は消失し、腫瘍の再発はない。

#### 5 . 当院における子宮鏡下手術について

済生会新潟第二病院 泌尿器科 吉水 敦

同 産婦人科 長谷川功、吉谷徳夫、湯沢秀夫、新井 繁

済生会川口総合病院産婦人科 竹山 智

平成12年から平成14年までの3年間に済生会新潟第二病院で52症例に子宮鏡下手術を施行した。当院では産婦人科から紹介のあった症例を、産婦人科管理下で泌尿器科医師が手術している。月経過多等の婦人科的愁訴により手術を行った症例が42例。不妊症症例は10例であった。手術時間は平均して15分 ( 3～43分 ) で合併症も今まで経験していない。過多月経等の婦人科的愁訴の改善率は57%で、不妊症症例10症例中術後妊娠が成立した症例は8症例であった。

#### 教育セミナー

16 : 20 ~ 16 : 50

座長 西 山 勉

骨髄由来幹細胞による腎微小循環再生研究の現況と今後の展望

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野 諏訪通博

前立腺癌画像診断とPSA

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野 星井達彦

[ 休 憩 16:50～17:10 ]

お 知 ら せ

日本泌尿器科学会専門医・指導医に必要な新潟地方会参加証は、地方会当日受付に用意してありますので、必要な先生は受付に申し出て下さい。

## サテライトセミナー

日 時：平成16年9月11日(土)

17時10分～18時25分

会 場：イタリア軒 5階『春日の間』

17時10分～17時25分

〈製品紹介〉

勃起不全治療剤『レビトラ®』 ～速く、確実に～

バイエル薬品株式会社 北関東甲信越支店 学術部 課長 若林 宗男

17時25分～18時25分

〈特別講演〉

座 長 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野 教授 高橋 公太先生

『男性更年期障害とED』

大阪大学大学院 泌尿器科学分野  
教授 奥山 明彦 先生

共催 日本泌尿器科学会新潟地方会

バイエル薬品株式会社

※ サテライトセミナー終了後、懇親会を3階「サンマルコ」にて行います。